

杉本としたか県政レポート

No.26

2019年2月20日

開会中の2月県議会に提案されている2019年度滋賀県一般会計予算は、国体施設整備などを重点にし、子ども食堂補助金の廃止など、安倍政権の悪政から県民の暮らしを守るものになっていません。しかし、これまで杉本県議が再三取り上げてきた県立高校のエアコン整備や外来魚駆除単価の引き上げなどを盛り込んでいます。日本共産党は県議会での唯一の野党ですが、杉本県議の道理ある提案が県政を動かしています。



日本共産党県議団と知事の政策懇談会 1/30・県庁

2019年度予算案 杉本県議の提案が県政を動かす

教育環境の整備

県立学校のエアコン整備

2019年度予算案では、6月までに全県立学校のエアコン整備をすることをしています。これについて、自民党などは、「わが会派の知事への申し入れで実現した」と宣伝しています。

3年前に杉本県議が口火をきる

しかし、県立学校のエアコンとトイレの問題を滋賀県議会ですべて初めて取り上げたのは、3年前の2015年12月議会の杉本県議の質問でした。杉本県議は、全国の公立高校のエアコン整備状況を明らかにし、京都や大阪は100%公費で整備しているのに比べ、滋賀県は10%余。それもPTAが設置し、電気代も生徒負担という現状を告発。当時の教育長は「教室の暑さ対策は扇風機で対応する」と答弁。

長浜北高新校舎にエアコンなしか！

翌2016年の2月議会で、再び杉本県議は、2016年度から始まる長浜北高校の新築工事にエアコン整備が入っていない時代錯誤をきびしく批判しました。

とうとう整備へ動く

続く2016年6月議会で、これまでの論戦の積み重ねをもとに新教育長に迫り、「2016年度中に一定の方向を出す」という答弁を引き出しました。これによって、2017年度から5カ年計画で全ての県立学校のエアコン整備をすることになり、まず長浜北や長浜北星で整備が行われ、2018年7月から稼働しました。虎姫高校の電気代の生徒負担もなくなりました。

こうした流れのなかで、2018年の猛暑を受けて、全ての会派が「5カ年計画の前倒し」の声をあげ、2019年6月までに全県立学校のエアコン整備が実現することになりました。杉本県議の先見的な論戦が見事に光っています。

高校トイレ整備に着手

高校トイレの洋式化の問題も前進し、2019年度予算には、虎姫高校などの設計予算が盛り込まれています。

長浜市内の県立学校のエアコン整備

長浜北高校	全教室・2018年7月稼働
長浜北星高校	
長浜農業高校	全教室・2019年6月稼働予定
伊香高校	
長浜養護学校	
虎姫高校	過去にPTAで普通教室に整備
	2018年4月から電気代県負担
	特別教室・2020年6月稼働予定

びわ湖漁業振興

外来魚駆除単価を引き上げ

2019年度予算案では、漁業者が実施している外来魚駆除の単価について、330円/kgを380円/kgに引き上げるとしています。

昨年9月議会で杉本県議は、「外来魚が小型化し捕獲経費が上昇しているのだから、駆除単価を引き上げ、漁業者の外来魚駆除への意欲を強め、捕獲量を増やすべきだ」と求めました。知事は「単価を見直す状況にはないと考えている」と答弁していました。

その後も杉本県議は環境農水常任委員会で、駆除単価の引き上げの必要性を強く主張してきました。これが2019年度予算案に実りました。

シジミ資源回復緊急対策

昨年12月議会で杉本県議は、セタシジミの極端な漁獲不振について、猛烈な台風21号による湖底の異変を指摘し、緊急対策をとることを求めています。来年度予算案では、資源回復の取組みを行うことが盛り込まれました。びわ湖と漁業問題での杉本県議の論戦が県政をリードしています。

県が市町と協力して国保料を下げよ 日本共産党県地方議員団が緊急申入れ



2月6日
滋賀県庁

日本共産党県議団と県内市町議員は2月6日、三日月知事あてに「国保料引き上げをやめ、公費負担の投入で持続可能な社会保障としての国保制度」を求める緊急申入れを行い、保健医療課と交渉しました。

公費負担の大幅増額を国に求めよ

杉本県議は、「他の医療保険と比べて国保料が異常に高いのは均等割があるから。これをなくすには1兆円の公費負担が必要。全国知事会も求めているが、滋賀県として国への大幅負担増を求めるべきだ」と指摘しました。

市町と協力して保険料の引き下げ努力を

1月末に県が示した来年度の標準保険料は11,782円増(1人当たり)。杉本県議は、「これでは、ほとんどの市町で大幅な国保料値上げにならざるをえない」と指摘。「(保険料支払いが困難な)方々に対してどのように対応していくのかということも市町と一緒に考えていかなければならない」という12月議会での知事の答弁をあげ、「国言いなりでなく、県民の暮らしを守る立場で工夫と努力を行うべきだ」と求めました。

日本共産党県議団が知事に 2019年度予算(見積)で改善申入れ

1月8日～11日行われた2019年度予算見積にたいする会派聴取をうけて、日本共産党県議団は1月18日、知事に改善を申し入れました。国体の巨額の施設整備などと一体の県民犠牲の行財政「改革」を批判し、くらし・福祉・教育に予算を重点配分するよう強く求め、とりあえず以下の項目について改善をはかるよう求めました。



- ◎子ども食堂への補助金1000万円の削減はやめる
- ◎外来魚駆除の補助単価を駆除経費に見合う引き上げ
- ◎子ども医療費助成は、対象年齢を引き上げる。
- ◎特別支援学校の新設を視野に対応をすすめる
- ◎私学助成のさらなる引き上げ
- ◎「戦国ワンダーランド滋賀」観光PRに1億300万円も使おうとしているが、見直しを求める
- ◎新県立体育館・彦根総合運動公園・草津市立プールに係る過大な整備事業費を見なおす
- ◎大企業応援の助成金の削減をはかる。

杉本としたか県政報告会 **ぜひご参加ください**

2019年3月23日(土)午後2時開会 湖北文化ホール(湖北町速水・湖北支所となり)